

Science Agora

[illegible]

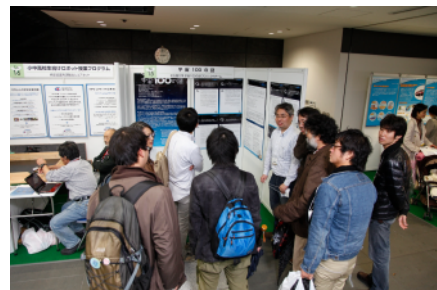
サイエンスアゴラとは

私たちとサイエンス、そして社会との関係について考える「ひろば(アゴラ)」、それがサイエンスアゴラです。科学技術を活用してよりよい社会を実現するための方策を多角的に論じ合う複合型のイベントとして 2006 年より開催されています。2011 年の東日本大震災を経験した今、私たちは一人ひとりが科学技術とどうかわり、何を選択していくかが問われています。その判断が、私たちの暮らしのみならず、国際社会や未来を支える子どもたちの代にも影響を与えます。そして何を選択するか判断するために、科学コミュニケーション手法を真に社会に役立つものにすることが求められます。

楽しむ、考える、共有する、多彩なイベント

サイエンスアゴラは、科学コミュニケーション実践の場として、子どもから一般市民や専門家まで、あらゆる立場の人たちが参加する多彩なイベントを目指しています。

今年は 11 月 10 日(土)、11 日(日)の 2 日間(ともに 10:00 ~ 17:00)に、シンポジウム、サイエンスカフェ、トークセッション、実験工作教室、サイエンスショー、ワークショップ、ブース・ポスター展示など、200 を超える企画が展覧されます。



サイエンスアゴラ 2012 プログラムの例

- ◎ サイエンスの力で開発途上国を救え
- ◎ 映画で語るサイエンス
- ◎ 福島での活動経験から習うリスクコミュニケーション
- ◎ 科学にもとづいた、食のコミュニケーションを！
- ◎ えっ？そんなに身近なの？ 遺伝子組換え技術を知ろう
- ◎ 生活習慣病予防の対面交渉ゲームを体験しよう
- ◎ ポッドキャストで科学とつきあう
 - ～あのワクワクした科学はどう実現されたのか～
- ◎ 対話の場は何を生み出しているか
 - ～世界市民会議 WWViews の取り組み～
- ◎ 放射線って、どのようにして測っているの？
- ◎ 討議：高レベル放射性廃棄物の処分はどうあるべきか！?
- ◎ 「ヒッグス粒子」発見で何が解決したのか？
- ◎ 北極があつい！～北極研究の今～
- ◎ 本音で語る『専門職学位』～薬学 6 年化は成功するか？～
- ◎ がん予防の実験を見てみよう
- ◎ 学生による科学の種の蒔き方
- ◎ 科学の伝言ゲーム～新聞・広報・原著論文の読み比べ
- ◎ 科学の『押し売り』？
 - 無関心層になぜ・どうやって科学を伝えるのか -
- ◎ 高専発 学生と発信する天文学
- ◎ 博士がサイエンスコミュニケーターとして大活躍！
- ◎ 『現場の声』を活かした教材・教具の開発・工夫
- ◎ 共に語ろう、東日本大震災後の海洋科学研究と教育
- ◎ 科学・技術でわかること、わからないこと Part II

※タイトルその他の情報は予告なく変更となる場合があります。

ほかにもサイエンスアゴラ 2012 で行われる企画は盛りだくさん！
詳しい情報・各種お問い合わせは公式ウェブサイトへ！

<http://scienceagora.org/>

独立行政法人科学技術振興機構(JST)

科学コミュニケーションセンター

〒102-8666 東京都千代田区四番町 5-3 サイエンスプラザ

